ROTARY CLUB OF HEKINAN WEEKLY

碧南ロータリークラブ週報

第２６２６回例会 平成２５年１月２３日(水)

●会長 黒田 昌司
●幹事 木村 徳雄
●会場監督(SAA) 新美 雅浩

■例会日　毎週水曜日　12:30　■例会場　碧南商工会議所ホール
■事務局　碧南商工会議所内　〒447-8501　愛知県碧南市源氏神明町 90
TEL<0566>41-1100　FAX<0566>48-1100
ホームページ：http://www.hekinan-rc.jp
E-mail:info@hekinan-rc.jp
■会報委員　菅原優・鈴木泰博・服部弘史・大竹密貴

2012-2013 年度　国際ロータリーのテーマ

●斉　唱

ロータリーソング「今日も楽し」

●本日のメニュー

碧南にんじんの日のお弁当　とんがり帽子

●本日のお客様

真宗大谷派　専興寺　坊守　　浅野眞理子様

会　長　挨　拶

黒田昌司会長

先週の土日でセンター試験がございました。翌日の新聞に問題と解答が載っており、私もチェックしておりました。若い頃はある程度理解できたのですが、最近では問題の意味もよく分からないという風になってしまいました。こんな問題がございましたので、紹介したいと思います。

小学校２年生の問題でございます。５人に飴を４個ずつ渡したら、合計でいくつ飴が要りますか、という問題です。昔は５×４で２０個、という答えで正解でしたが、少し前に文科省の学習指導要項が変更になりまして、式を見て答えが想像できるようにする、という内容になりました。答えが合っていればいいというわけではなく、途中経過が大事だという事です。

３現主義が会社経営において大事だと言われますが、「原理」「原則」を加えた５現主義で考えるべきだと思います。教育においても、「原理」「原則」が分かっていないと根本的な解決ができない、という事で現在の指導要項になったのだと思います。お孫さんに聞かれた際には、５×４ではなくて、４×５だよと正しく教えて頂けたらと思います。

また、現在のスマホではちゃんとした答えが出ますが、１０÷３×３を電卓でやった場合、どんな答えが出ますでしょうか。自宅で試して頂けたらと思います。以上で会長挨拶とさせて頂きます。

幹　事　報　告

・ 本日は両幹事が欠席となっておりますので、代理で報告させて頂きます。
・ 例会変更等は幹事報告書の通りです。
・ 第２５２０地区の盛岡西ロータリークラブ様より、「被災地においしい水を提供するプロジェクト」の報告書が届いております。

委　員　会　報　告

＜出席奨励委員会＞

総会員数 66 名（内出席免除者 10 名の内出席者 9 名)出席者 55 名	
出席対象者　55／64 名	出　席　率　　85.94%
欠席者 11 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率　100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

＜ニコボックス委員会＞

長田　昌昇君　穴がそうかいです。奥田先生ありがとうございました。
伊藤　正幸君　ちょっといい事がありました。
黒田　泰弘君　昨日、テレビをつけたら、いきなり鈴木健三先生の笑顔が目に飛び込んで来ました。楽しい思いをさせて頂きました。
寺尾　正史君　先日の母の葬儀に際しまして、お心遣い大変ありがとうございました。

卓　　話

「置かれた場所で咲きなさい」

真宗大谷派　専興寺　坊守　　浅野眞理子様

浅野眞理子様

私は土建屋の生まれでして、たまたま結婚したのがお寺の長男でしたので、お寺に入りました。４１年前は、浅野と結婚したんだと思っておりましたが、今は専興寺の阿弥陀さんと結婚したんだ、と思ってお寺の坊守をさせて頂いております。

本日、渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」という本を持ってきました。たまたま本屋に行きましたらこの言葉が目にとまり、真宗大谷派で「あなたはあなたになればいい」という言葉がありますが、それに通じる言葉だと思ったので買いました。キリスト教の精神で書かれた本でございます。キリスト教は「愛の宗教」、仏教は「悲の宗教」と言われております。中身自体は私としては、少し考え方が違うなと感じました。この本は昨年の売上の第２位でし

たが、第１位というのが阿川佐和子さんの「聞く力」でした。２つとも、皆さんが不安になっている中で、生き方についての言葉があります。本の帯の部分に、「結婚しても、就職しても、子育てしても、こんなはずじゃなかったと思う事が、次から次に出てきます。」とありますが、全くその通りだと思いました。
その次に、「そんな時にも、その状況の中で咲く努力をしてほしいのです。」とキレイな言葉が書かれています。咲く努力とありますが、私は努力が苦手でよく根性なし、などと言われます。努力は大切ですが、みんながみんな咲くまで努力が出来るのだろうか、と疑問に思います。努力できない人は、根性なし、ダメ人間と言われてしまいます。

マラソンの髙橋尚子さんが、「夢を諦めなければ必ず叶う」をおっしゃっていました。本当にそうでしょうか。必ずなんて事はないと思います。あれは勝者の言葉であって、私も一生懸命やってきた中で実力が足りなかったな、と諦めてきた事がいくつかありました。この本の中でも、努力をしなさいと多く記載があります。私がお寺に入って勉強した事は、「ご縁」という事を非常に学ばせて頂きました。全ては、ご縁であるというのが仏教の考え方でございます。私が今ここにいるのも、努力ではなく、ご縁があってここにおります。自分の努力には限界があり、ご縁によって私たちは育てられております。

最初のご縁が、結婚してしばらく経って庭の掃除をしている時に、おばあちゃんが来て財布を広げ、「いつも阿弥陀さんをキレイにしてくれて、ありがとう。」と言って１万円をくれました。お寺の人にとって、阿弥陀さんは心の拠り所であり、本当に大事にしている物だという感覚を初めて味わいました。それが今の私の基礎になったと思っております。お賽銭ですが、千円は高いなとか躊躇した事はございませんか。お布施というのは、清らかな気持ちがあってお布施になりますので、躊躇してはお布施になりません。

お布施を古代のインド語で言いますと、「ダーナ」と言います。布施をする寺を檀那寺と言いますが、「ダーナ」からきています。また一方、「ダーナ」がオランダへ行きますと、ドナーとなりました。生体肝移植の提供者の事です。ドナーとは、お布施の事なのです。誰から臓器をもらったか、はっきりしてはいけないのです。誰からもらったかが分かってはいけないのが、お布施なのです。

もう一つご縁がございまして、私の家には女が２人しかおりませんので、どちらかに跡をとってもらいたい、という事で名古屋の同朋大学へ行かせたわけですが、お寺の教師の免許をとるためには、得度しなければなりません。娘に、「私も得度するからお母さんも得度してね」と言われました。しかし私は、「私は土建屋に生まれたから恥ずかしくてしない」と言いました。それから娘に、「土建屋に生まれたから得度しない。お寺に生まれたから得度する。それは生まれの差別だ」と言われました。娘からきついお叱りを受け、これもご縁だと思いました。口では差別してはいけない、と言いながらも差別していたなと感じたのと同時に、僧侶になるのは必然的な事だと感じました。私の中で２つ目の大きなご縁でした。娘の卒業から７年後ぐらいに私も得度させて頂いて、僧侶にならせて頂きました。

３つ目のご縁がございまして、教師の免許をとってしばらくして、檀家さんから、あなたに来てほしいと言われました。普通は住職がやるのですが、あなたは世間話もしてくれるし、あなたに来てほしい、という本当に温かいお言葉を頂きました。

これらの３つのご縁が、今現在の私をつくっているのだなと思います。努力はできません。夢が必ず叶うとも思いません。しかし、ご縁というのを大事にしていけば、置かれた場所で咲いていくのではないかと思います。

次回例会案内

平成２５年２月６日（水）

クラブフォーラム「友好親善協会の活動について」

碧南市友好親善協会　会長　都築　明氏